

## 第 11 回日中韓三カ国環境大臣会合 共同コミュニケ（概要）

### ○経済危機と闘うグリーン・パートナーシップ（パラ 4）

- ・世界規模の経済危機の中で、地域の環境問題に対応し、地球規模の環境問題に貢献するため、グリーン協力を推進し、北東アジアにおける持続可能な経済成長／グリーン成長を推進する。

### ○2009-2014 年の協力優先分野（パラ 6）

- ・新たな状況及び三カ国の共通の関心に基づき、以下の 10 分野を今後 5 年間の優先協力分野とする： ①環境教育、環境意識および公衆の参加、②気候変動（コベネフィット・アプローチ、低炭素社会、緑色成長）、③生物多様性保全、④黄砂、⑤汚染管理（大気、水、海洋環境等）、⑥環境にやさしい社会／3R／循環型社会、⑦電子電機機器廃棄物（e-waste）の越境移動、⑧化学物質の適正な管理、⑨北東アジアの環境ガバナンス、⑩環境産業及び環境技術

### ○環境協力に関する三カ国行動計画、環境意識の喚起・環境教育（パラ 7）

- ・「環境協力に関する三カ国行動計画」を三カ国が共同でとりまとめ。
- ・三カ国の学生のための環境共同読本を作成するという提案を歓迎。
- ・三カ国の環境に関する青年グループのネットワーク構築のため、今秋に会合を開催

### ○気候変動関係（パラ 8）

- ・三カ国の排出削減のために、温室効果ガスを大量に排出する産業において、コベネフィット、低炭素物品の認証、炭素市場及び技術開発・移転に関する三カ国の研究を強化する必要性を認識。
- ・2009 年末コペンハーゲンでの UNFCCC 会議において、2013 年以降の公平かつ実効的な気候変動の次期国際枠組みに合意するため、引き続き協力する決意を表明。

### ○生物多様性関係（パラ 9）

- ・2010 年に名古屋市で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議の成功のために中国や韓国の支援を要請し、三大臣は会議の成功のために協力することを再確認

### ○黄砂、光化学オキシダント、海洋ゴミ関係（パラ 10～11）

- ・本地域の黄砂を防止し、対応するための適切な方策を模索する必要性を強調。
- ・光化学オキシダント、水環境及び海洋環境に関する早期警報、汚染防止・管理に関する関連の共同科学研究を奨励
- ・「海洋ゴミにおける地域行動計画」（RAP MALI）の進捗を含んだ「北西太平洋地域海行動計画」（NOWPAP）の枠組み内での三カ国共同による努力を評価。

### ○今後に向けて（パラ 18～19）

- ・開放性、透明性、相互の信頼、共益及び多様な文化の尊重という原則に基づき、
  - ・アジアにおける環境上適切な発展を推進
  - ・三カ国首脳に「環境協力に関する日中韓共同声明」に関する三大臣提案を提出
  - ・北東アジアにおける環境協力の強化により、グリーン経済を実現するため努力
- ・次回会合は日本で開催